

ていしん
東京逋信病院ニュース



vol.
154

けんこう家族

〒102-8798

東京都千代田区富士見2-14-23

TEL 03 (5214) 7111(代)

<https://www.hospital.japanpost.jp/tokyo/>

発行／東京逋信病院 2025年4月1日



- 新任医師挨拶
- 男性にも起きる更年期障害
- 口腔から健康を考える
- ネコ先生の『神楽坂逋信』 Vol.22
- 新任医師紹介
- ナースステーション／人間ドックのすすめ
- 連携医が検索できる電子掲示板を設置しました／病院のご案内



消化器内科主任医長 就任のご挨拶

1) はじめに

2024年7月より消化器内科に主任医長として赴任した平野賢二です。赴任前は200床程度の病院の消化器内科の部長として勤務していましたが、昨今の小規模病院の医師不足は大変深刻です。消化器内科の医師が1年間自分1人しかいない時期もありましたし、人材不足でやむなく新型コロナの診療責任者を務めたりもしました。その後、ここでは書きづらい苦労や紆余曲折を経て、出身大学医局の斡旋により赴任しました。人生やり直すくらいの気持ちで来ました。

2) 当院に就任して感じたこと

まず消化器内科について言えば、肝臓、胆膵、消化管の各領域の専門医が全部揃っているのが大きいです。どの病院の消化器内科のホームページを見ても「どんな消化器疾患でも対応します」と書いてはありますが、実際は盛られていることが多いです。当院消化器内科は9人（専攻医2名を含む）の医師がおり、肝臓、胆膵、消化管の各領域の専門医がいるため、掛け値なしでほぼ弱点がありません。具体的には

- ・肝臓領域では肝臓癌に対するラジオ波治療、肝動脈化学塞栓療法
- ・胆膵領域ではERCP関連手技、超音波内視鏡での観察、穿刺
- ・消化管領域では早期癌のESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）、炎症性腸疾患への対応。
- ・消化器領域の癌に対しての化学療法、放射線療法

といったことが中核市中病院には求められますが、いずれの条件もクリアできています。若手医師のおかげで機動力もあり、緊急への対応力も高いと考えております。

病院全体についてという観点では一通りの科、専門医が揃っている一方で、大規模過ぎないため、他科との連携もスムーズです。「放射線科医不足で血管造影による止血ができない状況でも出血リスクのある治療や検査をしなければならない」といった事態がなく、こうしたことは当院を受診される患者さんにとっても当然ながら大きなメリットと思われれます。

3) 肝胆膵疾患、自己免疫性膵炎(AIP)、IgG4関連疾患の診療

私自身は一貫として胆膵疾患を専門としており、総胆管結石の除去、悪性胆道狭窄（膵癌、胆道癌）への金属ステント留置、消化管ステント留置、経皮経肝胆道ドレナージ、超

音波内視鏡下腫瘍生検など一通りの手技は行っております。同業者との比較で上手な方だとは思いますが、スーパー職人でもないでしょう。よく言えば安全第一でやっています。

他の医療機関を圧倒するレベルのものを一つ挙げるとなると、大学時代から専門としていた「AIP、IgG4関連疾患」になります。まだまだ珍しい疾患ですが、今回の赴任にあたって55人のAIP患者（+他疾患5、6人）を前勤務先より当院に紹介しています。そのせいもあってか赴任間もないのに外来が混雑してしまっていますが、ご容赦ください。一つの疾患だけで55人もついてくるのだから「面倒見が良い先生なのであろう」と好意的に解釈していただければ幸いです。



消化器内科 主任医長
平野 賢二



前勤務先在籍時に作成した動画です。消化器内科外来で「肥満に伴う脂肪肝」の患者さんが多いことが作成のきっかけになりました。Youtubeで「ダイエットの理論と実践」と検索すると出てきます。減量したいが何から始めてよいかわからないという方、是非ご視聴ください。



男性にも起きる更年期障害

更年期障害という言葉、誰もが聞いたことがあると思います。中高年の女性に起きることは広く知られていますが、実は男性にも起きうることはまだ知らない方も多いと思います。男性の更年期障害は、現在ではLOH症候群と呼ばれています。LOH症候群はテストステロン（男性ホルモン）の分泌が低下することによって起きます。テストステロンは加齢のほか、退職や職位の変化など、日常生活に緊張感やストレスが増える環境になると分泌が減ります。テストステロンの分泌が低下することによって、さまざまな身体症状や精神症状が出るようになってきます（図）。LOH症候群は生活習慣病の発症とも深い関係があり、寿命にも影響を及ぼすことがわかってきました。テストステロンが低下すると肥満になりやすくなり、また逆に肥満はテストステロン低下の原因になります。このため、有酸素運動や筋力トレーニングを継続的におこなったり、高カロリーな食事を控えるなどして肥満の対策をすることは、LOH症候群の予防および改善にとっても有効です。外来診療では、まず問診票で患者さんの症状チェックをすると

もに、血中テストステロン濃度を測定します。テストステロンの低下の程度が軽い場合は、前述の生活指導をするとともに、漢方薬や患者さんの症状に合わせた内服薬を処方します。しかし、テストステロンがかなり低い患者さんでは、テストステロン補充療法を行います。テストステロン製剤を2～4週ごとに筋肉内注射で投薬します。治療によって、筋肉量増加と体脂肪減少、勃起能の改善、血糖値の安定、生活の質の改善などの効果がみられます。泌尿器科の外来では、男性更年期障害の診療も行っております。テストステロンの分泌低下は40歳代くらいからみられるようになります。60歳代になると、テストステロンが基準値以下になっている方が約50%いるといわれています。40歳以上の男性で思い当たる症状がある方は、ぜひ遠慮なく泌尿器科を受診してみてください。



泌尿器科 部長
村田 太郎

テストステロンが減少すると

身体症状

関節症、筋肉痛
（痛みを感じやすくなる）

疲れやすい

発汗やほてり

肥満、
メタボリックシンドローム

頻尿

精神症状

イライラ

不安、パニック

うつ

不眠

興味や意欲の喪失

集中力・記憶力の低下

性機能症状

ED

性欲低下



口腔から健康を考える



口は消化管の入り口として、食物の咀嚼や嚥下、さらには発音やコミュニケーションなど、多岐にわたる機能を有しています。そのために歯が大切であることはいうまでもありませんが、近年では、歯や口の中の状態が全身の健康にも影響を与えることが注目されています。虫歯や歯周病などの口の中の病気が、心血管疾患、糖尿病、呼吸器疾患などの全身の病気と密接に関連しているのです。

虫歯や歯周病は感染症

虫歯と歯周病は口の中の二大疾患ですが、罹患したことがある人も多いのではないのでしょうか。虫歯は歯自体が溶けていく病気で、進行すると歯の神経をむしばみ、歯の根の周囲に炎症を引き起こすこともあります。歯周病は、歯自体というよりは周囲の歯肉や歯槽骨で炎症が広がる病気で、進行するにつれて歯肉の出血や腫れ、骨の吸収に伴う歯の動揺などを認めます。虫歯と歯周病の病態は全く異なるものですが、いずれも口の内に常在する細菌が関与している感染症です。

全身的な病気との関わり

虫歯や歯周病の原因菌や炎症の影響は、口の中だけには留まりません。血流を巡り、次のような病気を引き起こすこともあります。

・動脈硬化や心臓病、脳卒中

歯周病の原因菌が血流に入って動脈の内壁に付着することにより、あるいは口の中の慢性的な炎症で産生された炎症性メディエーターなどにより、動脈硬化の進行が促進され、心臓病や脳卒中のリスクが高まることが知られています。歯周病が進行することで、心血管疾患の発症リスクが約2倍になるという疫学調査の報告もあります。

・糖尿病

歯周病が血糖コントロールを悪化させる、逆に糖尿病が歯周病のリスクを高めるという双方向の関係が存在します。従って、歯周病の治療により糖尿病の改善を認めたり、糖尿病のコントロールにより歯周病が良くなったりすることもあります。

・呼吸器疾患

呼吸器疾患との関連としては、口腔内の細菌が肺に到達することで、肺炎や慢性閉塞性肺疾患（COPD）のリスクが増加することが報告されています。

このように、虫歯や歯周病など口の中の状態は全身的な健康状態にも影響を与えるため、口の中を健康に維持することは非常に大切です。

歯科検診の有用性

口の中の健康を維持するためには、適切な歯磨き、健康的な食生活、禁煙、定期的な歯科検診などが推奨されます。歯の痛みを感じてから歯科を受診したり、口の中の不調を自覚しながらも放置したりする人もいますが、歯科検診で早期に問題を発見し適切な治療を行うことが、健康維持にも役立ちます。

東京通信病院歯科口腔外科では、健康な口腔環境を維持し全身の健康をサポートするため、検診や歯科治療なども行っています。お気軽にご相談ください。



歯科口腔外科 部長
藤原 タミ





ネコ先生の『神楽坂通信』Vol.22



皆さまこんにちは。お元気ですか。今回は黄疸についてお話しします。

黄疸というのは、ビリルビンという胆汁の色素成分によって体が黄色くなることです。黄色くなる場所は、皮膚や白目です。鏡を見て自分の目が黄色いことに気づいたり、家族や仕事仲間に指摘されたりしてわかります。また、尿が濃いコーラ色になりますし、便は逆に薄い灰色になります。

黄疸はなぜ起きるのでしょうか。肝臓の細胞は脂肪の消化を助ける胆汁を常に作っていて、胆管を通してそれを十二指腸に流しています。便が黄色いのはこの胆汁の色素であるビリルビンが食べ物に混じっていくからです。この胆汁が、肝臓から胆管を通して腸に流れなくなった結果、黄疸が起きます。ビリルビンが血液に逆流し、体中を流れて組織に沈着して黄色くなるのです。

では、なぜ胆汁が腸に流れなくなるのでしょうか。原因は大きく分けて二つあります。

一つ目は流れる道：胆管、が塞がる場合。これを閉塞性黄疸と呼び、胆管内に石が詰まったり、胆管が腫瘍でつぶされたりすることで起こります。前者は総胆管結石、後者は膵臓がん、胆管がんなどで生じます。この場合、胆管はせき止められているので管がラッパのようにふくれます。

二つ目は肝臓が炎症で障害されていて胆汁を胆管内に送れない場合です。これは肝細胞性の黄疸であり、原因としてウイルス性急性肝炎やアルコール性肝硬変などがあげられます。胆汁が胆管に出ないので、管はふくれません。

いずれにせよ黄疸は体にとってとてもピンチな状態であり、入院での治療が必要になります。閉塞性の場合は、取り除ける石は内視鏡的に除去し、腫瘍の場合はとりあえずプラスチックの管を通してたまった胆汁を肝臓から外に出さなくてはなりま

せん。体温の37度前後で液がたまって動かない状態は腸の細菌が増殖するのに最適な環境であり、胆管炎から敗血症、ショックに進む場合もあるからです。抗生物質の投与も必要になります。肝細胞性の場合は、安静とし点滴で水分や栄養を補います。このように黄疸の原因により、治療内容は大きく変わります。

ごく軽度の黄疸が健診で指摘されることもあります。血中ビリルビン値が2-3 mg/dl 程度に上昇するもので、ジルベール症候群と呼ばれ、肝臓での代謝酵素が少し弱いことが原因です。ASTなどの肝臓の酵素は通常正常であり、病気とは考えません。人口の2-5%に認められます。

以上は消化器系の原因による黄疸ですが、血液疾患である溶血性貧血が原因になることもあります。赤血球が壊れてヘモグロビンが放出され、代謝されて過剰のビリルビンができると肝臓で処理しきれないからです。

なお黄疸と間違えるものに、みかんやにんじんの取り過ぎで、それらに含まれるカロテノイドの過剰により手のひらなどが黄色くなる柑皮症があります。血中ビリルビン値は正常で、摂取をやめると改善します。

黄疸は重大な病気の危険信号です。体調が悪い時は、鏡を見たら白目をチェックし、尿や便の色も確認するようにしてください。



院長補佐兼
消化器内科 部長
光井 洋



新任医師・退職紹介

2024年7月1日採用



消化器内科 主任医長

平野 賢二 (ひらの けんじ)

7月より赴任しました。消化器疾患全般対応可能ですが、特に強みがあるのは胆道・膵臓疾患です。年齢、経験的にも即戦力と見込まれての採用であり、期待に添えるよう精一杯頑張ります。



耳鼻咽喉科 医師

藤崎 綾衣子 (ふじさき あいこ)

7月より耳鼻咽喉科に赴任いたしました。患者さんの健康の一助となれますよう、丁寧診療を心掛けて参ります。よろしくお願いいたします。

2024年10月1日採用



脳神経外科 主任医長

鮫島 哲朗 (さめしま てつろう)

10月より脳神経外科に赴任いたしました鮫島(さめしま)と申します。脳腫瘍を中心に困難な脳外科手術を専門にしております。脳に関することならどんなことでも気軽にご相談ください。(※2025年4月から脳神経外科部長)



外科 主任医長

富樫 順一 (とがし じゅんいち)

2024年10月から赴任した富樫です。東京大学肝胆膵移植外科出身で千葉の総合病院国保旭中央病院で外科部長でした。いつでも気軽にご相談いただければと思います。



皮膚科 医師

長島 朱里 (ながしま あかり)

10月より皮膚科に赴任いたしました。皆さまのお肌の健康をサポートできるよう日々精進して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



形成外科 医師

小野 智洋 (おの ともひろ)

10月から再度赴任になりました。診療や手術について聞きたいことがあれば気軽に相談していただければと思います。よろしくお願いいたします。

2025年1月1日採用



呼吸器内科 医師

池田 早織 (いけだ さおり)

1月より呼吸器内科に赴任しました。謙虚な気持ちを忘れずに精進していく所存です。また、膠原病や感染症の診療経験も多く、これらの肺合併症に関する相談も歓迎します。

当院を退職しました

2024年6月30日、9月30日、10月31日、12月31日、2025年2月28日退職

柴田 晟智 (耳鼻咽喉科)

柴原 淳 (整形外科)

玉川 栄樹 (形成外科)

杉原 武 (婦人科医長)

都築 和弥 (整形外科)

鹿間 健志 (外科)

川本 俊樹 (脳神経外科主任医長)

松木 あゆみ (循環器内科)

吉岡 玲央 (神経内科)

飯田 玲美 (皮膚科)

横田 茉莉 (救急総合診療科医長)

2025年3月31日退職

平岡 久忠 (院長補佐兼整形外科部長)

栗林 聡 (整形外科主任医長)

西村 基 (外科医長 (乳腺センター長))

大久保 敏之 (院長補佐兼放射線科部長)

田代 典子 (麻酔科主任医長 (緩和ケア病棟担当))

小野 雅典 (整形外科医長)

岡本 幸一郎 (脳神経外科部長)

武田 昌子 (麻酔科主任医長)

北口 真由香 (放射線科医長)

※ 3月31日退職医師及び4月1日採用医師は、7月号で改めてお知らせいたします。



ナースステーション

カテーテルアブレーション治療について

7階西病棟 看護師長 勝又 裕子

循環器内科では、2024年4月からカテーテルアブレーション治療を行っています。

不整脈の代表的な治療方法であるカテーテルアブレーションは、アブレーション治療用のカテーテルで不整脈を起こす原因となっている異常な電気興奮の発生箇所を焼き切る治療法です。

不整脈の種類にもよりますが、手技時間は大体1時間～3時間ほどで、体に負担がかからないよう、局部麻酔や静脈麻酔で行われます。当院では4泊5日の入院治療を予定しています。

治療前日

心電図検査を行います。

足の付け根からカテーテルを挿入しますので、その周囲の毛を剃ります。

検査当日

朝食・昼食は、食べられません。足の付け根からカテーテルを挿入しますので、治療後は、3時間のベッド上安静と圧迫固定を行います。その後は、起き上がって夕食が食べられます。

治療翌日

朝、医師がカテーテル挿入部位の処置に伺います。医師の診察後に歩行が可能になります。

入院から退院まで、心電図モニターを装着して、看護師が常時観察しています。医師と協力して、異常の早期発見に努めています。

退院後

カテーテルを挿入した部位に皮下出血といって、青あざのようになることがありますが、約1～3週間で自然に消失します。退院後、シャワー浴は可能です。入院時に退院後の生活についても看護師から説明させていただきます。分からないことや質問等があれば、いつでも看護師にお声掛けください。



人間ドックのおすすめ

人間ドックセンター

1年に1回は健康チェック (電話03-5214-7055)

男性 基本検査



身体測定
呼吸器系
循環器系
腎・尿路系
代謝系

肝・胆道系
消化器系
血液系
炎症・その他

眼科
耳鼻科

料金 **45,100円**

追加でオプション検査もございます。

女性 基本検査



身体測定
呼吸器系
循環器系
腎・尿路系
代謝系

肝・胆道系
消化器系
血液系
炎症・その他

眼科
耳鼻科

婦人科(子宮頸がん検診)
外科系(乳房撮影+触診)

料金 **52,360円**

追加でオプション検査もございます。

新規オプション「経膈エコー検査」開始のお知らせ

子宮がん新規患者のうち、半数以上を占める子宮体がんの早期発見に効果的な「経膈エコー検査」を開始しました。この検査では、子宮や卵巣の状態を詳しく確認することができます。

経膈エコー検査で早期発見が期待できる疾患：子宮体がん、子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣のう腫、卵巣がん
こんな方にお勧めします：

- ①40才以上の方
- ②妊娠・出産歴がない方
- ③家族や親戚に卵巣がん、乳がんの既往がある方
- ④下腹部に痛みや違和感がある方(下腹部痛、頻尿・便秘、月経痛、性交痛など)
- ⑤不正出血(生理以外の性器出血)、過多月経(生理の量が多い)がある方

検査方法：婦人科内診時に続けて検査を行います。所要時間は約2分程度。

料金：5,280円(税込)

安心して検査を受けていただけるよう、スタッフ一同サポートいたします。健康管理の一環として、ぜひご利用ください。



連携医が検索できる 電子掲示板を設置しました

当院 1 階外来ホールエスカレーター前に、電子掲示板を設置しました。この掲示板には、当院の連携医を検索できる機能があります。当院には800を超える連携医の先生がいらっしゃいますので、是非お住まい近くの連携医を検索してみてください。また当院のイベント情報等も随時掲載していますので、ご確認をお忘れなく!!



ご利用案内

診療科

内科、内分泌・代謝内科、血液内科、神経内科、感染症内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、精神科、外科(乳腺センター)、消化器外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科(関節鏡・スポーツセンター)、婦人科、小児科、眼科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科(ペインクリニック)、緩和ケア内科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科

外来診療日

- 月曜日～金曜日(祝日及び年末年始を除く)

予約の方法・予約受付の時間帯等

- 電話での予約…9:00～17:00
(土・日・祝日及び年末年始を除く)
- 電話番号……03-5214-7381

時間外(急患)診療

- 連絡先……03-5214-7768(救急診療室)

診療受付時間

窓 口	予約のある方	午前 8:30～11:00 午後12:30～16:00
	予約のない方	午前 8:30～11:00 午後12:30～14:30
自 動 受付機	予約のある方のみ	8:00～16:00

人間ドックセンター

- 連絡先……03-5214-7055、7167
オプションで脳ドック、肺がんドックも行っております。

注意事項

- **処方箋**は、使用期間[発行日を含めて4日(土曜・日曜・休日を含む)]を過ぎると無効になりますのでご注意ください。
- **お薬手帳**を携帯しましょう。入院、外来、薬局で必要になる他、外出時の急病・受傷時にも有用です。



理 念

私たちは、患者さんに満足いただける心のこもった良質な医療を提供し、社会に貢献します。

